

2024年度 入荷図書・DVD 紹介

タイトル	著者	内容	出版年	分類	コード	出版社
月間ウィラード6月号 (No.830) 男女共同参画のための情報誌	村松泰子 (編集・発行)	特集「男女共同参画」のこれから、「日本は平等に向かっているのか」、「ジェンダーで読み解く男性の働き方・暮らし方」、日仏女性の人権架け橋 ミモザ実行委員会「子の人近藤佳美さん」	2023.6	I	2586	(公) 日本女性学習財団
サッカーボールひとつで社会を変える スポーツを通じた社会開発の現場から	岡田 千あき	ゆるやかな人間関係をつくる、社会課題の解決に取り組む、国の未来をイメージする…。主に開発途上国で行われている「サッカーで社会を変える」試みの事例を、活動が行われた国の背景や人びとの生活とともに紹介	2014.6	A1	4669	阪大リーブル 49
エトセトラ VOL. 10 (2023FALL/ WINTER) / 特集男性学 フェミマガジン	周司 あきら // 特集編集	毎号、新しい編集長がその時いちばん伝えたいテーマを特集するフェミマガジン。VOL. 10は、「特権」「加害性」「生きづらさ」で終わらない、その一歩先にある「男性性」の多様さを探る。	2023.11	I	4668	エトセトラブックス
女ことばってなんなのかしら? 「性別の美学」の日本語	平野 卿子	日本語の「女ことば」、それは日本人に根付く「性別の美学」の申し子である。翻訳家として西洋語に長年接してきた著者が、女ことばを産んだ土壌と歴史的背景、およびそこから生じる日本の女と男の関係性を見つめ直す。	2023.5	J3	4667	河出書房新社
家族と厄災	信田 さよ子	パンデミックは水面下の家族問題をあらわにした。家族で弱い立場に置かれた女性達の手さぐりと再生の軌跡を、臨床心理士が見つめる。ウェブマガジン『生きのびるブックス』連載を加筆修正、書き下ろしを加えて単行本化。	2023.1	F2	4666	生きのびる ブックス
ドイツの女性はヒールを履かない/Warum deutsche Frauen keine High Heels tragen 無理しない、ストレスから自由になる生き方	サンドラ・ヘフェリン	日本の女性はがんばりすぎ! 周囲に合わせたり、固定観念に縛られて疲れていませんか? 「ヒールは履かない」など、無理をしない、ストレスから自由になるドイツ流の生き方を伝える。門倉多仁亜のインタビューも掲載。	2023.7	E2	4665	自由国民社
ジェンダー格差 実証経済学は何を語るか	牧野 百恵	歴史・文化・社会的に形成される男女の差異=ジェンダー。実証経済学の成果から就業、教育、歴史、結婚、出産など様々な事柄を取り上げ、格差による影響や解消後の可能性について、国際的視点から描く。	2023.8	L2	4664	中央公論新社
なぜ理系に女性が少ないのか	横山 広美	高等教育機関における理系分野の女性の学生の割合がOECD諸国では最下位の日本。女子生徒の理科・数学の成績は世界でもトップクラスなのに、なぜ理系を選択しないのか。綿密なデータ分析からその理由を明らかにする。	2022.11	G3	4662	幻冬舎
女子マンガに答えがある 「らしさ」をはみ出すヒロインたち	トミヤマ ユキコ	「はいからさんが通る」「YAWARA!」「のだめカンタービレ」…。不朽の名作から今が旬の話題作まで、「らしさ」の檻を解体するヒロイン約100名を縦横無尽に語り尽くす。マンガ作家山本美希との対談も収録。	2023.5	H1	4661	中央公論新社
シモーヌ VOL. 6 / Les Simonees / 特集: インターネットとフェミニズム / 私たちの 空間を守る	シモーヌ編集部	フェミニズムから見たインターネットの歴史: p122~127 雑誌感覚で読めるフェミニズム入門ブック。ICT業界はなぜ男性中心なのか? フェミニズムはインターネットを有効に使ってきたのか? インターネットの歴史と現象をジェンダー視点で考える。テキストデータ請求券付き。	2022.6	I	4660	現代書館
東京貧困女子。 彼女たちはなぜ躓いたのか	中村 淳彦	1 女子大生、派遣社員、シングルマザー…貧困に喘ぐ東京暮らしの女性たちの心の叫びを、「個人の物語」として紹介。問題解決の糸口を探る。『東洋経済オンライン』連載をもとに単行本化。	2019.11	C4	4663	東洋経済新報社

2024年度 入荷図書・DVD 紹介

タイトル	著者	内容	出版年	分類	コード	出版社
三淵嘉子の生涯 人生を羽ばたいた“トラママ”	佐賀 千恵美	昭和15年、日本初の女性弁護士となり、戦後、日本初の女性裁判所長となった、三淵嘉子。法曹界において時代を切り開いてきた彼女の生涯を、取材や資料などをもとに描く。	2024.4	B2	4659	内外出版社
ケアしケアされ、生きていく	竹端 寛	社会の規格からはみだしてはいけないと、忖度（そんたく）したり、空気を読んだりしてしまう。でも、そんな社会は息苦しくて生きづらい。お互いがケアし合う関係になるには？自分のありのままを大切にする「ケアのある社会」とは何かを考える。	2023.1	M4	4658	筑摩書房
ジェンダー目線の広告観察	小林 美香	コンプレックスを刺激する脱毛・美容広告、バリエーションの少ない「デキる男」像…。ジェンダーの視点で公共空間にあふれる広告を読み解き、メディアリテラシーの必要性などを考察する。テキストデータ請求券付き	2023.9	H1	4657	現代書館
ケアの倫理 フェミニズムの政治思想	岡野 八代	自分のありのままを大切にする「ケアのある社会」にしよう！〈20歳の大学生の世界〉〈6歳の女の子の世界〉〈48歳の著者が生きる世界〉の3つの世界をつなげながら、ケア中心の社会とは何かを考える。	2024.1	A2	4656	岩波書店
分断されないフェミニズム ほどほどに、誰かとつながり、生き延びる	荒木 菜穂	「女カースト」に基づく「子なし」女性の劣等感、母親と独身女性がともに忌み嫌うミソジニーな風潮…。分断させられる女性同士の関係性をフェミニズムの視点から論じ、女性のつながりのあり方を再考する。	2023.12	A2	4655	青弓社
わたしが誰かわからない ヤングケアラーを探す旅	中村 佑子	葛藤と喜び、苦しみと快樂、引き裂かれてゆく感情の双方の極…。精神疾患を抱える家族に付き添うヤングケアラーの内的時間をめぐる、冒険的セルフドキュメント。『かんかん！』等掲載に書き下ろしを加え書籍化。	2023.11	M4	4654	医学書院
50代で一足遅れてフェミニズムを知った私がひとり安心して暮らしていくために考えた身近な政治のこと	和田 静香	老後を目前に不安にかられた著者は「女性議員なら自分ごととして考えてくれるのでは？」と、日本で唯一パリテ（男女同数）議会を20年以上も続けてきた大磯町議会をたずねる。だが…。パワフルな政治&フェミニズムエッセイ。	2023.1	A1	4653	左右社
はじめてのフェミニズム	デボラ・キャメロン//著/ 向井 和美//訳	女性にほどんた権利が必要？「女の仕事」はどう生まれた？性描写はやめるべきか？「男女同権にもとづいて女性の権利を擁護する運動」とされるフェミニズム。しかし、フェミニストのあいだにも意見の相違や対立が存在する。そんな多様で複雑なフェミニズムの論点を、さまざまな事例を通じて、率直かつ公平に描き出す。	2023.9	A2	4652	ちくまプリマー 新書
実母と義母	村井 理子	夫を亡くしたあと癌で逝った実母と、高齢の夫と暮らす認知症急速進行中の義母。「ふたりの母」の生きざまを通して、ままたらない家族関係を活写するエッセイ。『よみタイ』連載を加筆し単行本化。	2023.1	A1	4651	集英社
アートとフェミニズムは誰のもの？	村上 由鶴	よく見えなくなってしまうアートとフェミニズム。それが誰のものなのかを点検し、「みんなのもの」に軌道修正するために、フェミニズムを使ってアートを読み解く。	2023.8	J3	4650	光文社新書